

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会の理解 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	村井 清子	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護支援専門員			
《授業科目における学習内容》						
社会と生活のしくみを学び更に、私たちの生活を支える福祉の社会保障制度の歴史・理念について理解していく						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成講座 2 社会の理解(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
福祉関係の記事を読む						
《履修に当たっての留意点》						
別冊の社会福祉制度等の動きとポイント熟読とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	社会生活を機能的にとらえる視点について理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	生活を幅広くとらえる			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	家族と家庭の違いを理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	生活の基本機能			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	生活と働き方の変化 日本の少子高齢化における課題の重要性について理解することができるようにする			
		各コマに おける 授業予定	ライフスタイルの変化			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	家族の定義、社会組織の機能について理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	家族の機能と役割 地域社会について			
第 5 回	講 義 演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	組織による生活支援を理解することができるようになる			
		各コマに おける 授業予定	地域社会の変化 生活支援 演習1-1 1-2			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉の成り立ちと取り組みについて理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	地域福祉の発展		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会福祉士の立場から、どのように地域づくりを理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	地域共生社会 地域包括ケアについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の範囲・種類を知り、目的、機能について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	社会保障制度の基本的な考え方①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の範囲・種類を知り、目的、機能について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	社会保障制度の基本的な考え方②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会経済状況と社会保障制度の関係性を、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	社会保障の動向～憲法～介護保険		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の給付・負担・種類について学び、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度のしくみ①		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の給付・負担・種類について学び、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度のしくみ② 医療保険 介護保険		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会保障制度の給付・負担・種類について学び、理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	日本の社会保障制度のしくみ③ 医療保険 介護保険		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	振り返り		
		各コマにおける授業予定	いままで学習した内容の確認		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの振り返り		
		各コマにおける授業予定	まとめ		